

稲沢市コミュニティバス 市民アンケート調査集計結果

平成29年11月

市長公室地域振興課

目 次

市民アンケート調査集計結果	1
(1) アンケート調査の概要	1
(2) アンケート調査の結果	2
ア アンケートの属性	2
イ 設問	4

市民アンケート調査集計結果

(1) アンケート調査の概要

この調査は、平成26年11月4日に変更しました『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』につきまして、今後のコミュニティバスの利便性向上に向けて『同計画』見直しの検討に資することを目的として実施しました。

ア 調査期間

平成29年8月18日（金）から9月6日（水）までの20日間

イ 調査対象

平成29年8月1日現在、住民基本台帳に登録されている満18歳以上の市民から無作為抽出した市民2,500人。

ウ 調査項目

- コミュニティバスの認知について
- コミュニティバスの利用の有無について
- 主に利用される路線について
- 主に利用されるバス停留所について
- コミュニティバスの利用頻度について
- 主にコミュニティバスに乗車される時間帯について
- コミュニティバスの主な利用目的について
- 主な目的地について
- 最寄りの停留所まで徒歩でかかる時間について
- コミュニティバスを利用していない理由について
- 各路線における経費負担額と運行路線の見直しについて
- 利用料金について
- コミュニティバスの改善点について
- コミュニティバスの新たな目的地について
- コミュニティタクシーの認知・利用の有無について
- コミュニティタクシーを利用していない理由について

エ 調査方法

無作為抽出した2,500人へアンケート調査用紙を郵送し、同封した返却封筒により調査用紙を回収

オ 回答率

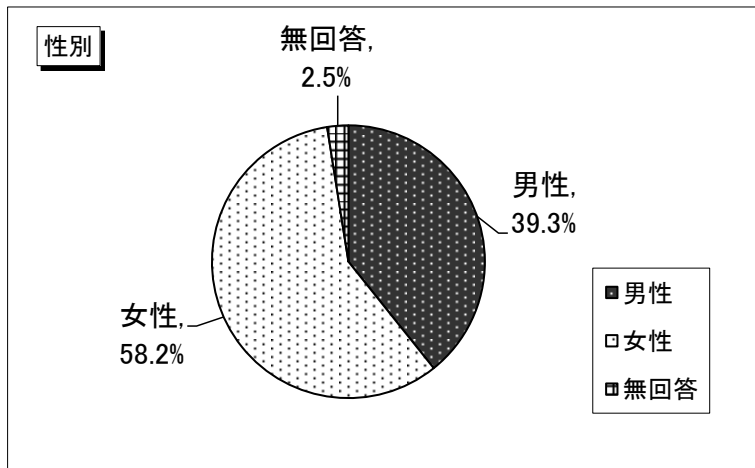
59.2% 回答者数 1,480人

(2) アンケート調査の結果

ア 回答者の属性

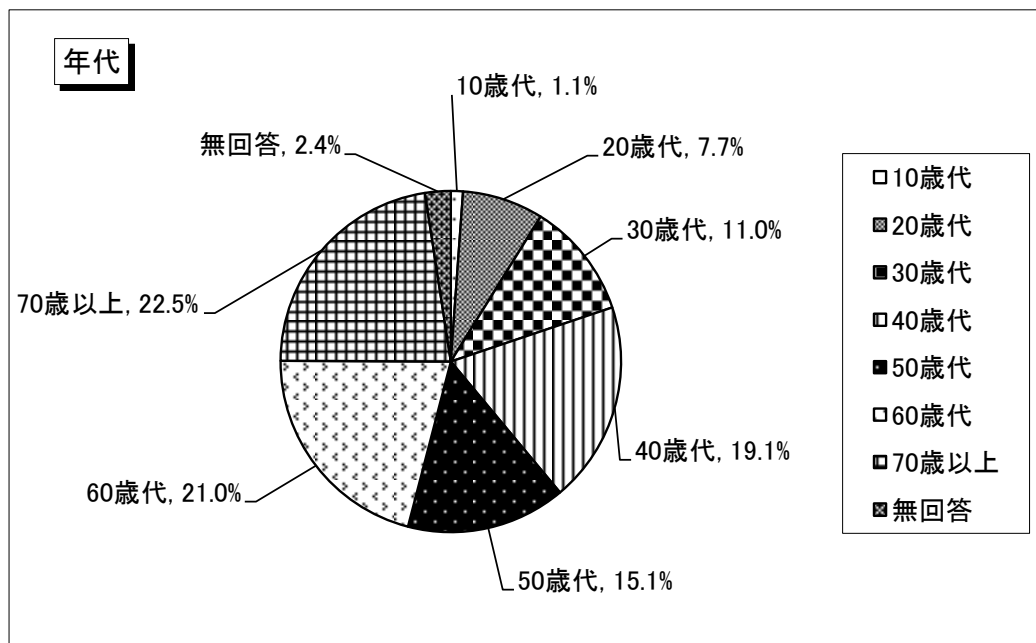
◎ 性別

○ アンケート調査に回答していただいたかたは、男性 39.3%、女性 58.2%と、やや女性が多くなっています。



◎ 年代

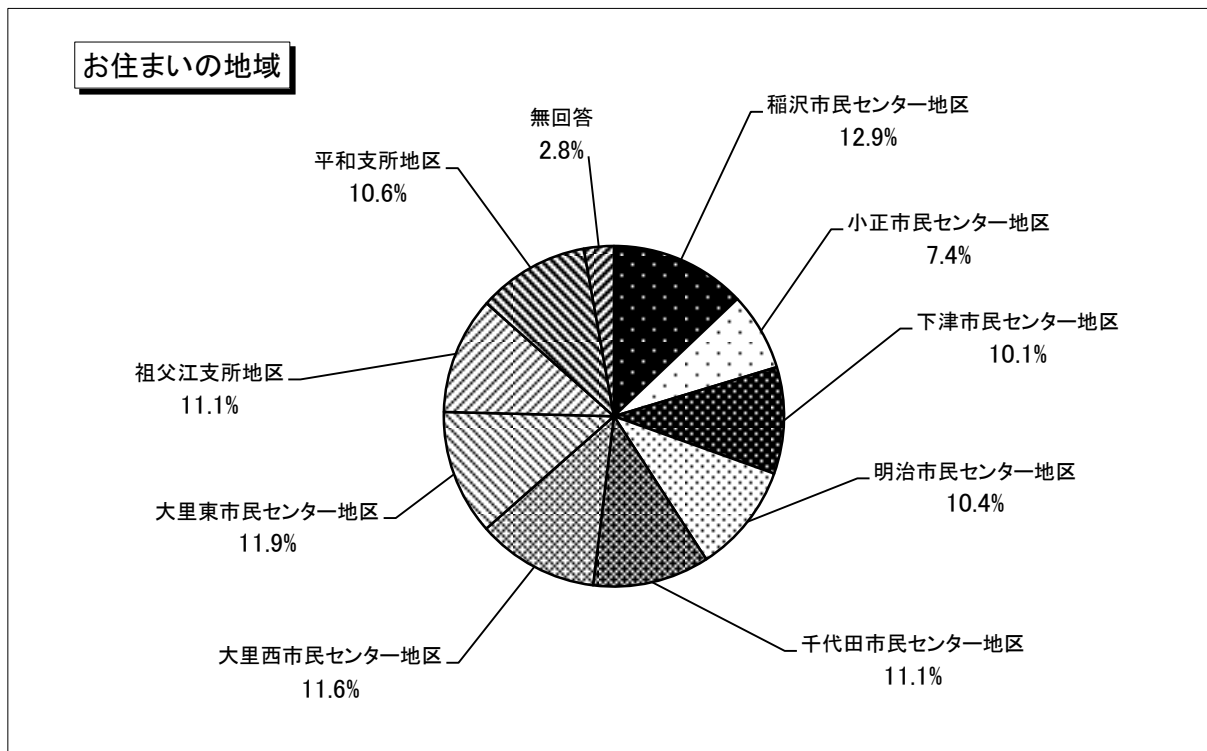
○ 回答していただいたかたの年代別の割合は、70歳代以上が 22.5%、60歳代が 21.0%、40歳代が 19.1%、50歳代が 15.1%の順に多くなっています。50歳代以上のかたで過半数を超え、40歳代以上のかたでは 77.7%の割合を占めています。年齢が若くなるほど割合が低くなり、年齢が高いかたに積極的に回答していただいている傾向となっています。



◎ お住まいの地域

○ 回答していただいたかたの地域別の割合は、稲沢市民センター地区が 12.9%と最も高く、最も低かったのは、小正市民センター地区の 7.4%でした。

小正市民センター地区を除く 8 地区においては、最も高かった地区と最も低かった地区の差は 2.8%でしたので、概ね全地区のかたに偏りなく回答していただいたものと考えられます。

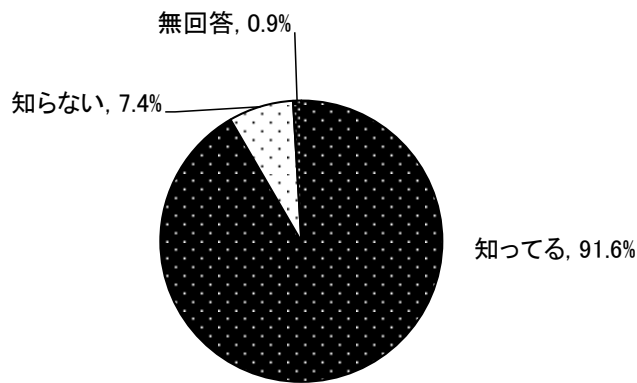


イ 設問

問1 コミュニティバスが運行していることを御存知ですか。

- コミュニティバスの運行を「知っている」と回答されたかたは、91.6%であり、9割を超えるかたにコミュニティバスの運行が認知されております。

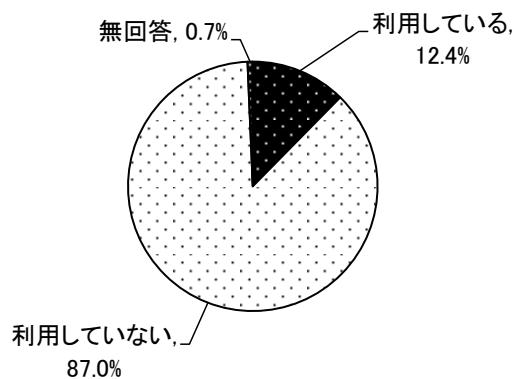
コミュニティバスが運行していることを御存知ですか



問2 あなたはコミュニティバスを利用していますか（利用していましたか）。

- 「利用していない」と回答されたかたが87.0%と、9割弱にものぼります。
問1で9割近くのかたにコミュニティバスの運行が認知されながら、利用率が低調な状況でありますので、利用率向上に向けた『コミュニティバス運行事業計画』見直しの検討が必要であると考えられます。

あなたはコミュニティバスを利用していますか



問3 主にどの路線を利用されますか。

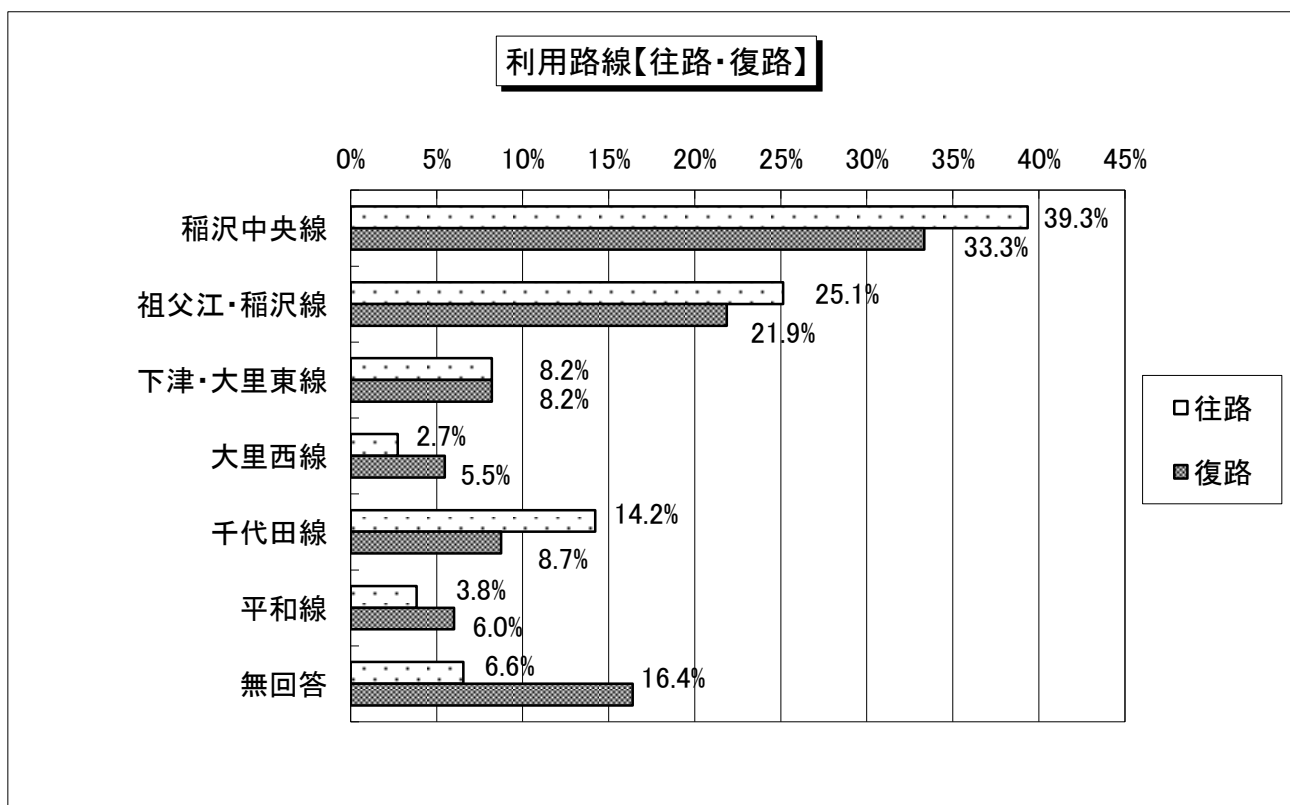
往路・復路について、1つ選んで記入してください。

なお、乗継ぎをされた場合は、乗継ぎ後の路線を記入してください。

○ 往路で最も多い利用は「稲沢中央線 (39.3%)」、次いで「祖父江・稲沢線 (25.1%)」、「千代田線 (14.2%)」の順となっており、復路での最も多い利用は「稲沢中央線 (33.3%)」、次いで「祖父江・稲沢線 (21.9%)」、「千代田線 (8.7%)」の順となっており、往路と同様の傾向が見られます。

「大里西線」及び「平和線」につきましては、往路・復路ともに10%未満であり、他の路線と比較すると低調な利用率となっています。

○ 乗継ぎをされたかたの状況は、全ての路線をあわせて合計で32件（往路16件、復路16件）となっております。



【乗継ぎをされたかたの状況】

(回答数)

路線	往路	復路
稲沢中央線	6	5
祖父江・稲沢線	3	3
下津・大里東線	3	2
大里西線	1	0
千代田線	1	4
平和線	1	2
その他	1	0
合計	16	16

問4 主にどのバス停留所を利用されますか。

往路・復路について、それぞれ利用される停留所名を記入してください

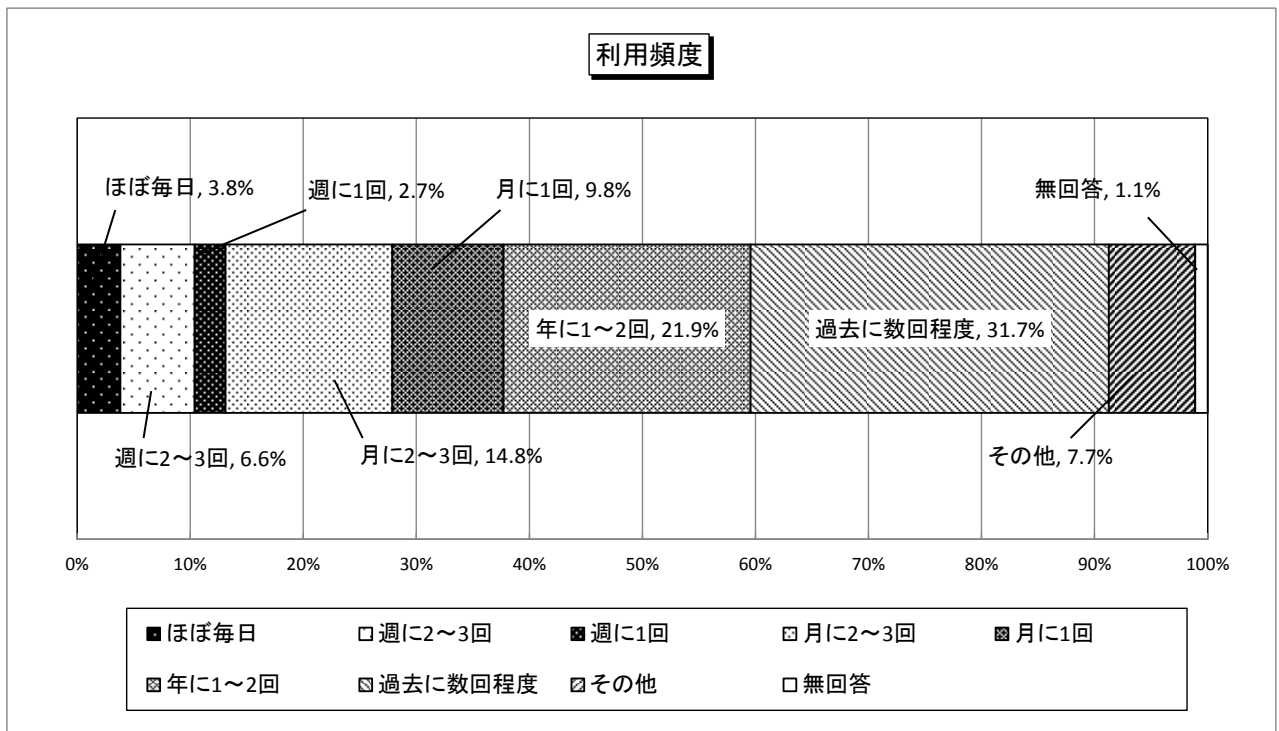
○ 御回答いただいた結果は次のとおりです。駅、病院、量販店付近の停留所での乗降が多くなっています。

停留所番号	停留所名	往路 (乗車)	往路 (降車)	復路 (乗車)	復路 (降車)	停留所番号	停留所名	往路 (乗車)	往路 (降車)	復路 (乗車)	復路 (降車)
1	ふれあいの郷	0	2	1	0	46	日下部郵便局	2	0	0	1
2	江西	0	0	0	0	47	大里駅	5	1	2	4
3	下沼	0	0	0	0	48	大里西市民センター	0	0	0	0
4	善光寺南	1	0	0	1	49	田畑	0	0	0	0
5	祖父江中学校北	1	0	0	2	50	宮長	0	0	0	1
6	祖父江口	2	0	0	2	51	緑町	1	0	1	2
7	鶴塚	0	0	0	0	52	アクロスプラザ稲沢	2	2	1	0
8	祖父江支所	2	1	0	2	53	勝幡駅	0	1	2	0
9	稲沢厚生病院	3	9	8	2	54	氷室	0	0	0	0
10	森上駅	7	2	2	6	55	坂田	0	0	0	0
11	日光	1	0	0	1	56	田代団地北	8	0	0	7
12	片原一色	4	0	0	3	57	目比	0	0	0	0
13	愛知西農協明治支店	0	0	0	0	58	野崎	2	0	0	1
14	明治市民センター	1	0	0	1	59	千代田市民センター	7	0	0	6
15	西島新町	1	0	0	0	60	附島	3	0	0	1
16	清水	2	0	0	1	61	大矢	1	0	0	1
17	天池	3	0	0	2	62	大矢北	2	0	0	1
18	アピタ稲沢店	7	25	21	8	63	南緑町	1	0	0	1
19	ヨシヅヤ新稲沢店	6	4	7	4	64	大塚	0	0	1	0
20	稲沢市役所	6	10	9	9	65	高御堂住宅西	1	1	0	0
21	石橋	0	0	0	0	66	東城	2	0	0	2
22	木全	2	0	1	1	67	北津島病院北	0	0	1	1
23	江越	1	0	0	2	68	ヨシヅヤ平和店	2	1	1	2
24	本郷	3	0	0	3	69	平和工業団地	0	1	0	0
25	稲島十丁目	1	0	0	1	70	らくらくプラザ	0	0	0	0
26	松下西	0	0	0	0	71	平和支所	0	0	2	1
27	国府宮駅	14	57	49	15	72	下三宅	0	1	0	0
28	正明寺	2	1	1	2	73	観音堂	0	0	0	0
29	小池南	0	0	0	0	74	井堀	1	0	0	1
30	稲沢市民病院	2	27	26	0	75	堀之内	1	0	0	1
31	地泉院	0	0	0	0	76	矢合口	1	0	0	0
32	愛知西農協長岡支店	1	0	0	0	77	矢合観音北	1	0	0	1
33	富士美ヶ丘南	2	1	0	3	78	国分団地西	3	0	0	0
34	中牧西	0	0	0	0	79	松下町	2	1	0	2
35	中牧	2	1	0	1	80	小沢	1	0	0	0
36	祖父江の森	0	2	1	0	81	城見ヶ丘	3	0	0	3
37	下津市民センター	2	1	0	0	82	稲沢町前田	3	0	0	4
38	リーフウォーク稲沢	1	2	3	1	83	美術館・保健センター	0	0	2	0
39	長野	0	1	1	0	84	稲沢公園	3	2	0	2
40	JR稲沢駅西口	16	5	3	18	85	朝府	2	0	1	2
41	駅前一丁目	1	0	0	1	86	国分団地	4	0	0	2
42	小池二丁目	0	1	1	0	87	船橋	1	0	0	1
43	長東	0	0	0	0	88	矢合観音	3	0	0	3
44	パールシティ	1	0	0	0	99	無回答	12	20	35	36
45	大里東市民センター	5	0	0	1						

問5 コミュニティバスをどの程度利用されていますか。

○ 以下の上段の表が今回のアンケート調査結果です。「過去に数回程度」が 31.7%、「年に 1 回～2 回」が 21.9%、「月に 2～3 回」が 14.8%、「月に 1 回」が 9.8%の順となっています。この 4 つを合わせますと 78.2%となり、多くのかたが月間あるいは年間のスパンで利用されていることがわかります。

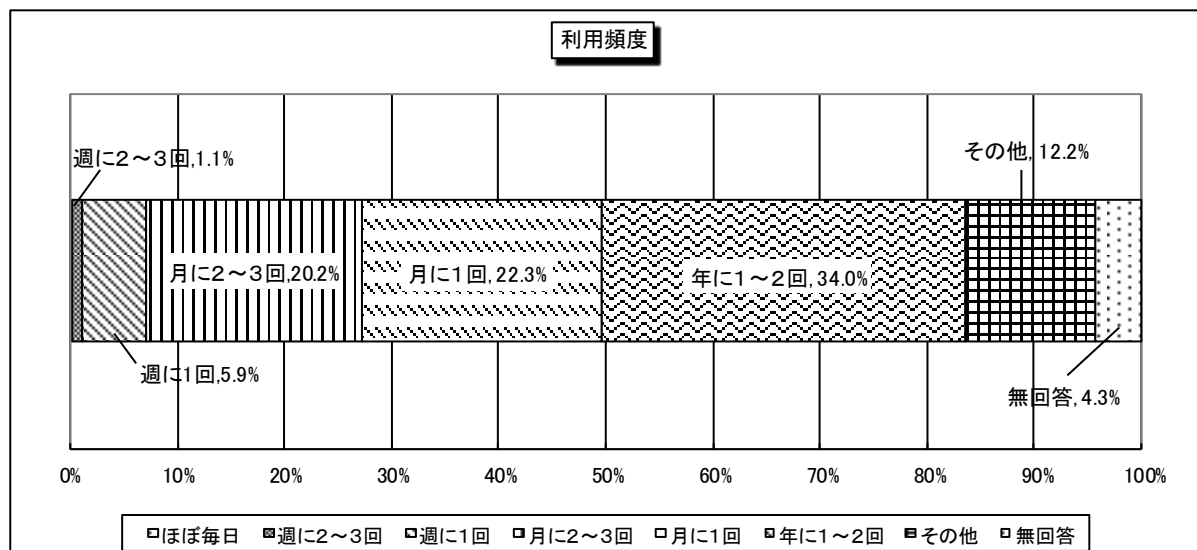
下段の表は平成 25 年 7 月の市民アンケート調査結果（同じく満 18 歳以上、2,500 人無作為抽出）です。このときの調査では「過去に数回程度」の選択肢がありませんでしたが、多くのかたが月間より長いスパンで利用されていることに関して大きな違いはないと考えられます。



【参考】平成 25 年 7 月市民アンケート調査（18 歳以上、2,500 人無作為抽出）

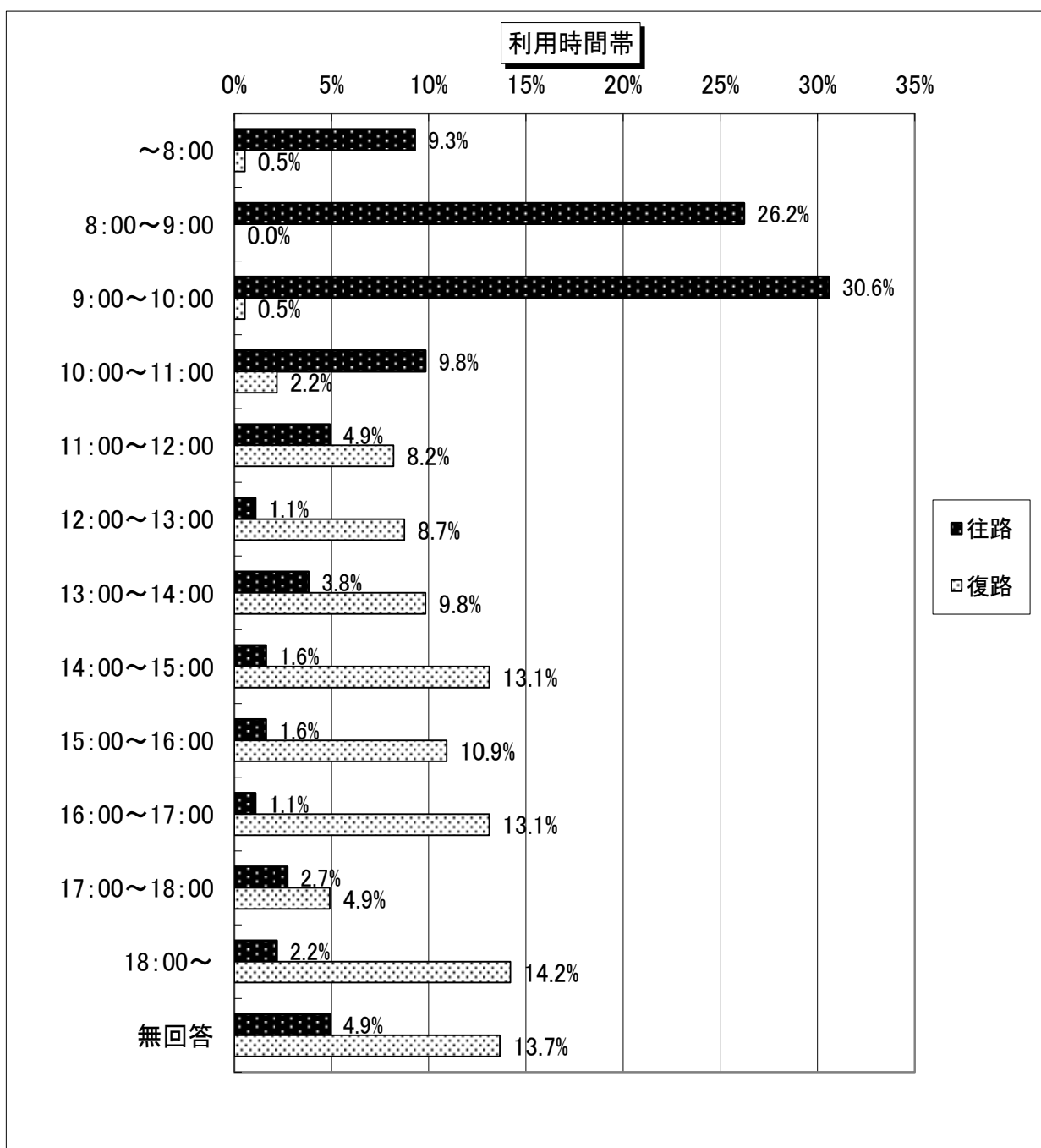
「どの程度コミュニティバスを利用していますか」の設問に対する回答

(※コミュニティバスを利用していると回答されたかたへの設問)



問6 主にコミュニティバスに乗車される時間帯は、どの時間帯ですか。

- 往路で最も多い利用時間帯は「9：00～10：00」で30.6%、次いで「8：00～9：00」が26.2%、「10：00～11：00」が9.8%、「～8：00」が9.3%の順となっています。
- 復路で最も多い利用時間帯は「18：00～」で14.2%、次いで「14：00～15：00」、「16：00～17：00」がそれぞれ13.1%、「15：00～16：00」が10.9%の順となっております。



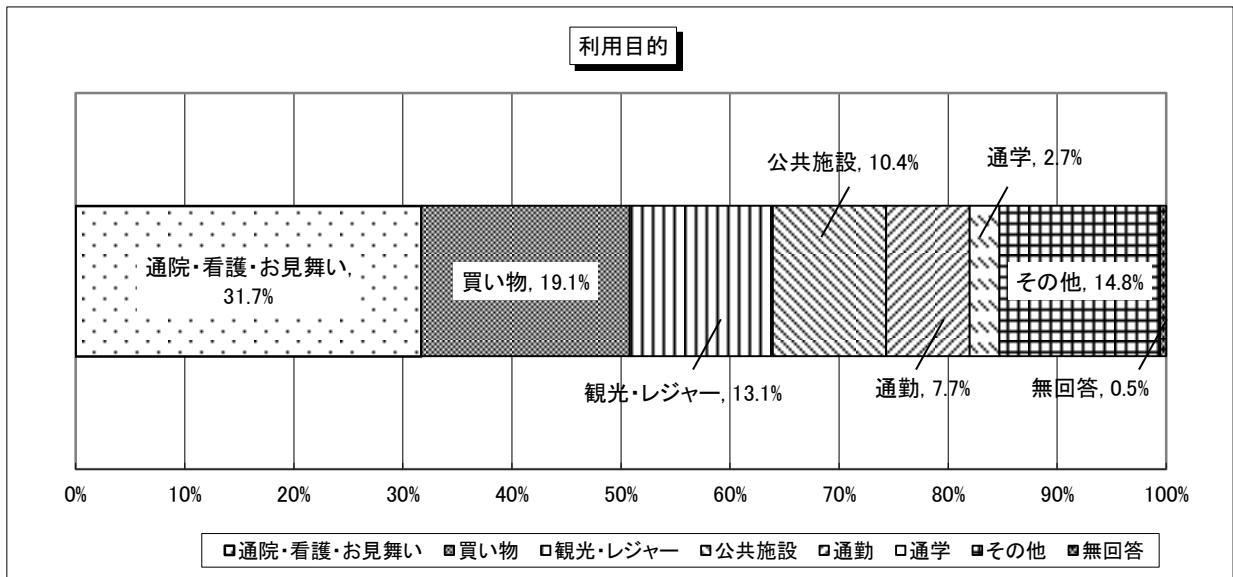
問7 主にコミュニティバスをどのような目的で利用されますか。

○ 上段の表は、今回の調査結果です。第1位は「通院・看護・お見舞い」で31.7%、第2位は「買い物」で19.1%、第3位は「観光・レジャー」で13.1%、第4位は「公共施設」で10.4%でした。

「通院・看護・お見舞い」と「買い物」で50.8%と半数以上を占め、これに「観光・レジャー」と「公共施設」を含めると74.3%となりますので、多くのかたがこの4つの目的で利用されていることがわかります。

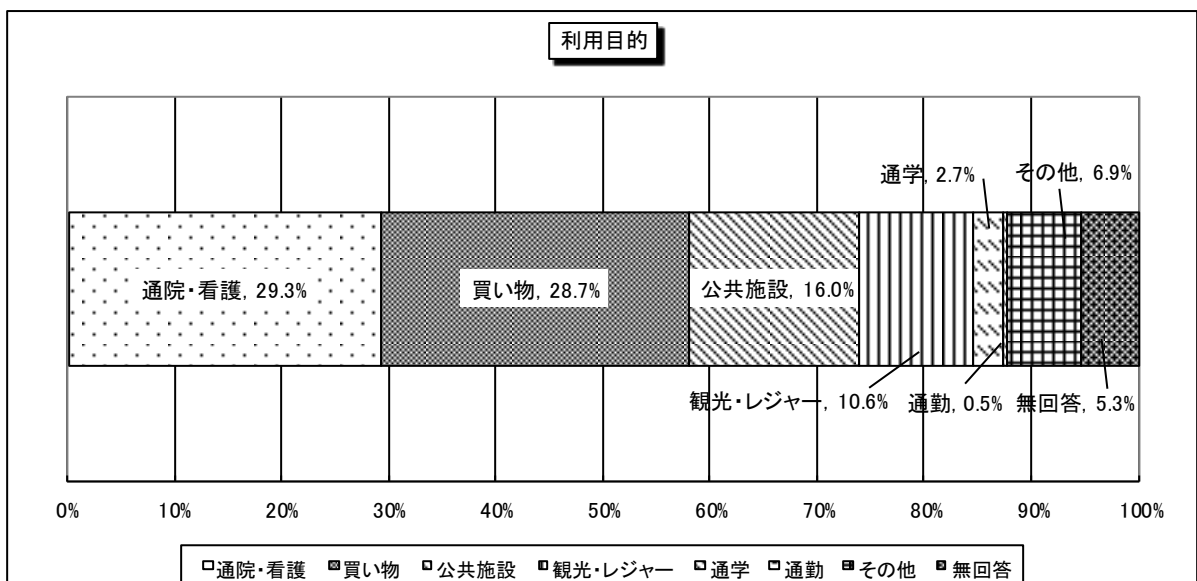
参考までに下段に平成25年7月市民アンケート調査結果（同じく満18歳以上、2,500人無作為抽出）を掲載しました。

今回の調査結果における「通勤」の利用者が7.7%となっており、前回の0.5%から大幅に増加しております。



【参考】平成25年7月市民アンケート調査（18歳以上、2,500人無作為抽出）

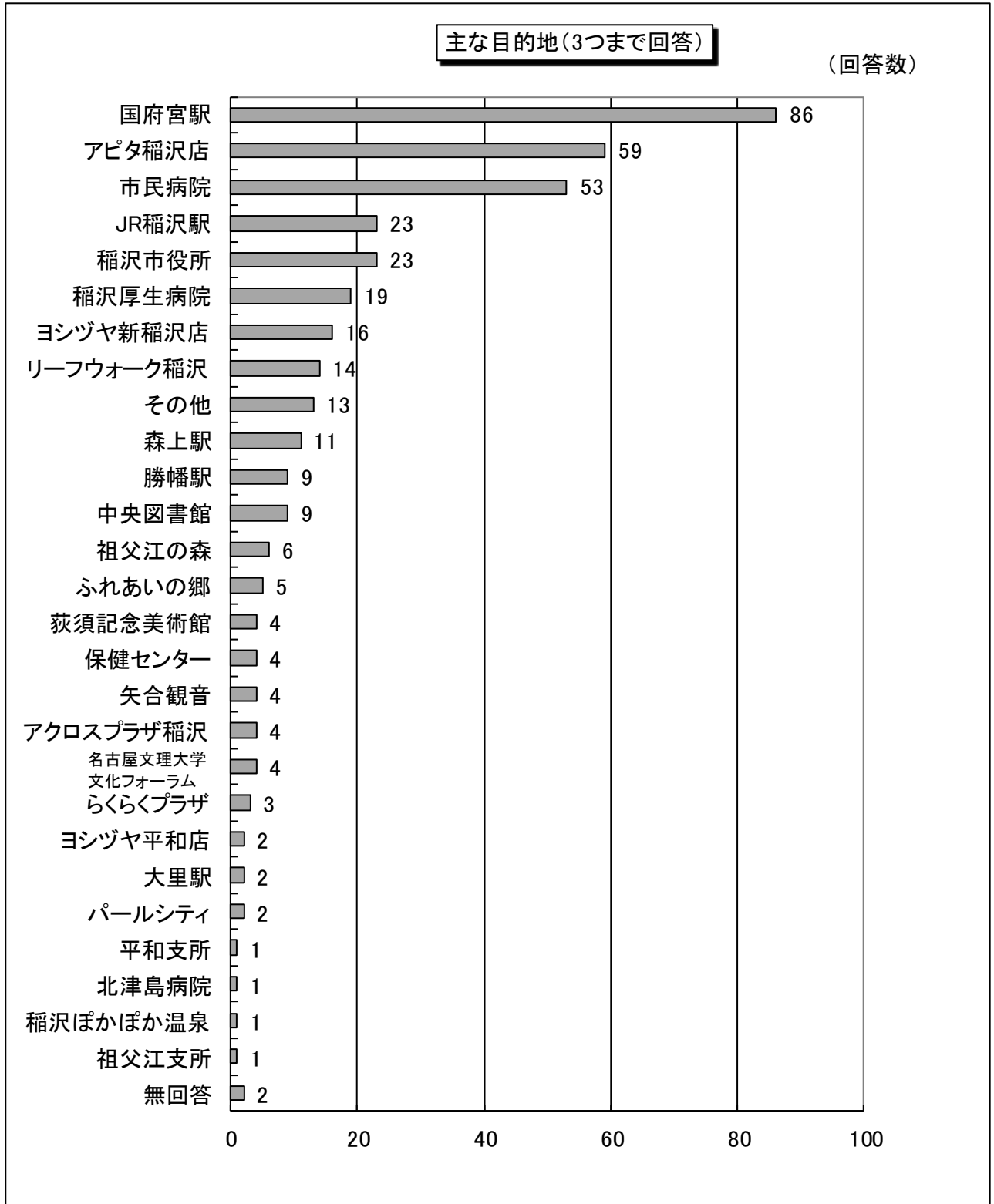
「コミュニティバスを利用して主にどちらへ行かれますか」の設問に対する回答
 (※コミュニティバスを利用していると回答されたかたへの設問)



問8 主にコミュニティバスを利用してどちらへ行かれますか。

次の項目の中から3つ選んで番号を記入してください。

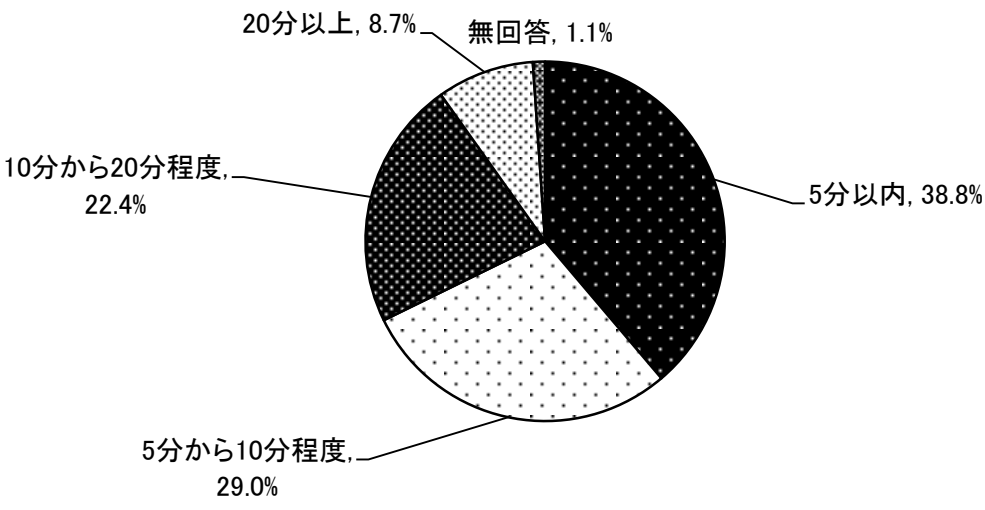
- 「国府宮駅」が第1位で、順に「アピタ稲沢店」、「市民病院」、「JR稲沢駅」、「稲沢市役所」、「稲沢厚生病院」となっており、駅、量販店、病院が上位を占めています。



問9 あなたの御自宅から最寄りの停留所まで徒歩で何分掛かりますか。

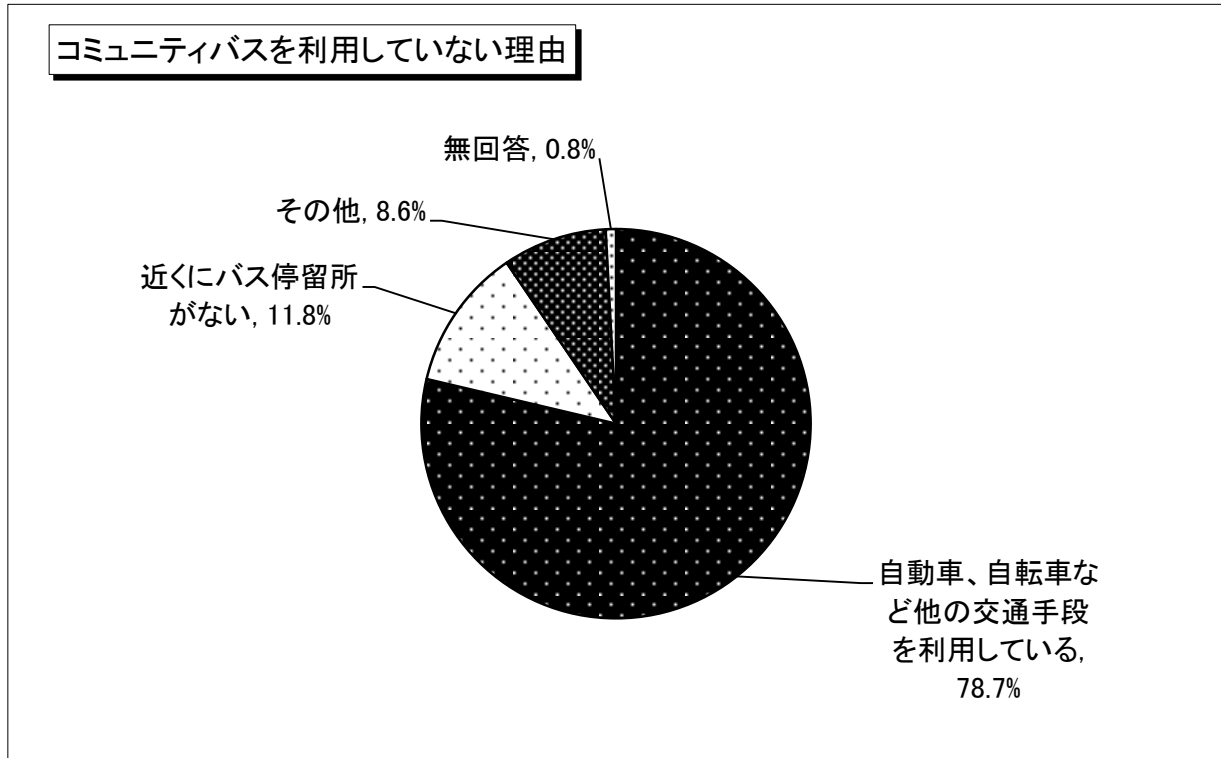
○ 「5分以内」が最も多く38.8%で、時間が掛かれば掛かるほど利用されるかたは減少します。「5分から10分程度」が29.0%、「10分から20分程度」が22.4%ですので、徒歩で20分を超えると大きく落ち込むものと考えられます。

自宅から徒歩で停留所まで



問 10 コミュニティバスを利用していない理由は何ですか。

- 「自動車、自転車など他の交通手段を利用している」が圧倒的に多く 78.7%にものぼりました。問2でコミュニティバスの利用率が 12.4%しかなかったことの大きな理由と考えられます。次に多かったのは、「近くに停留所がない」で 11.8%でした。「その他」8.6%の内訳は以下に別記させていただきましたが、いずれの項目も少数です。



その他の内訳

項目	内訳
運行本数が少ない	2.0%
コミュニティバスの運行を知らなかった	1.8%
利用したい時間帯と合わない	1.6%
行きたい場所へ運行していない	1.5%
日曜・祝日に運行していない	0.5%
その他	1.2%

問11 コミュニティバスの利用料金は1乗車1人200円(小学生100円、未就学児無料)として設定しておりますが、利用料金のみでは運行経費をまかなえないため、市が年間80,889,522円(平成27年度決算額。市民1人当たりに対する市の負担額は586円)を負担して運行しています。これを利用者1人当たりの負担額にしますと、稲沢中央線(アピタ稲沢店系統)が192円、祖父江・稲沢線(ふれあいの郷系統)が606円、同線(地泉院系統)が544円、大里西線が1,259円、下津・大里東線が1,124円、千代田線が909円、平和線が2,986円となっており、各路線において市負担額に差が生じています。

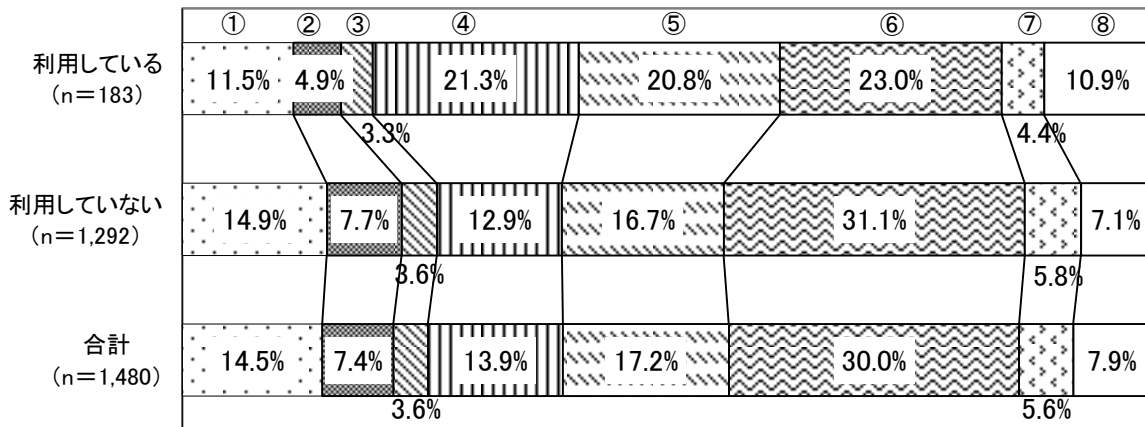
このように、路線において市の負担額に大きな差がある中、利用の低調な運行路線について、今後どのように運行路線や停留所の見直しを図るべきであると考えますか。

○ この設問のグラフは、問2からコミュニティバスを「利用してる」かたと「利用していない」かた、「合計」に分けて作成しました。

「利用している」かたは、利用低調路線の今後の見直しについて「現行のまま継続すべきである」が21.3%、「必要に応じて便数や停留所を増やすべきである」が20.8%、「新たな運行制度を導入すべきである」が23.0%とほぼ同数の割合となっております。

「利用していない」かたの回答としましては「新たな運行制度を導入すべきである」が31.1%と最も多く、次いで「必要に応じて便数や停留所を増やすべきである」が16.7%、「短縮や減便、停留所の削減や統合をすべきである」が14.9%となっております。

利用低調路線について(利用者別)

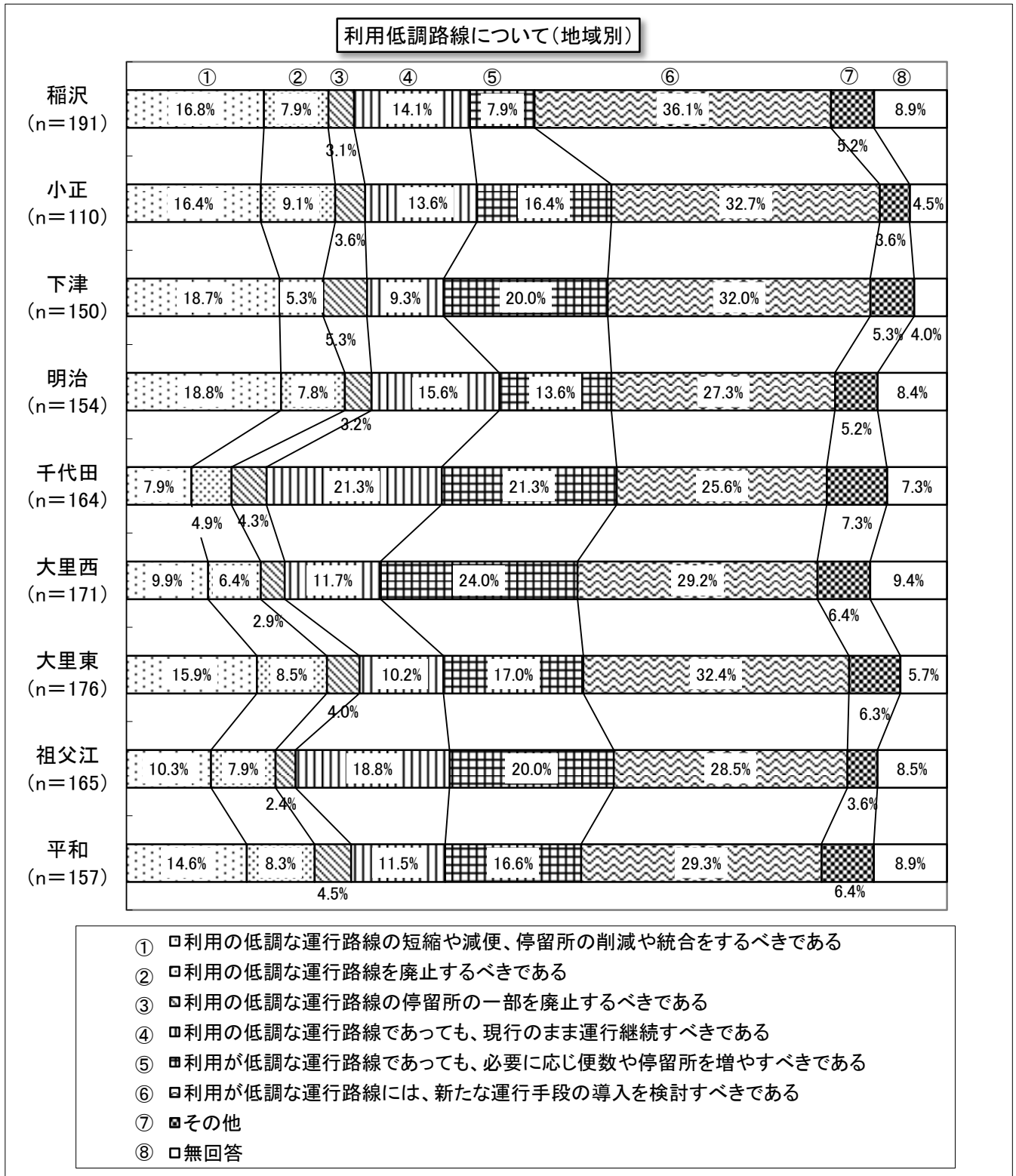


- ① □ 利用の低調な運行路線の短縮や減便、停留所の削減や統合をすべきである
- ② ■ 利用の低調な運行路線を廃止すべきである
- ③ ▨ 利用の低調な運行路線の停留所の一部を廃止すべきである
- ④ □ 利用の低調な運行路線であっても、現行のまま運行継続すべきである
- ⑤ □ 利用が低調な運行路線であっても、必要に応じ便数や停留所を増やすべきである
- ⑥ ▨ 利用が低調な運行路線には、新たな運行手段の導入を検討すべきである
- ⑦ □ その他
- ⑧ □ 無回答

○ この設問のグラフは、問 11 を地域別に分けて作成しました。

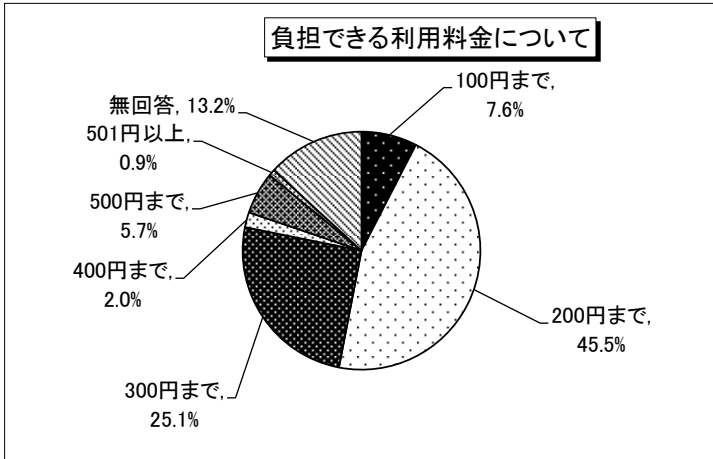
利用低調路線について「新たな運行制度を導入すべきである」との回答が 25.6%から 36.1% となっており、全ての地域において最も多く選択されています。

また、全ての地域に共通して利用低調路線は「廃止すべきである」、「停留所の一部を廃止すべきである」との意見の割合が少なくなっています。



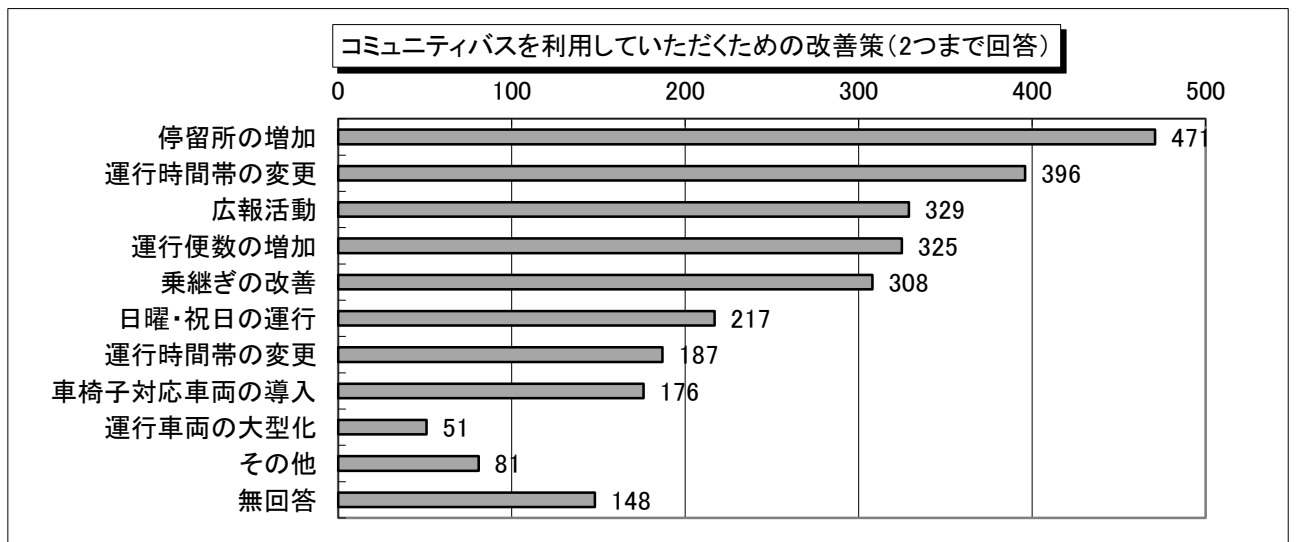
問 12 コミュニティバスの利用料金について、伺います。
 あなたが負担できる利用料金は、いくらまでですか。

○ 最も多かったのが「200円まで」で45.5%、次いで多いのが「300円まで」で25.1%でした。
 現在の運賃は大人1乗車200円ですので、現状維持を望まれるかたが最も多い結果であると考えられます



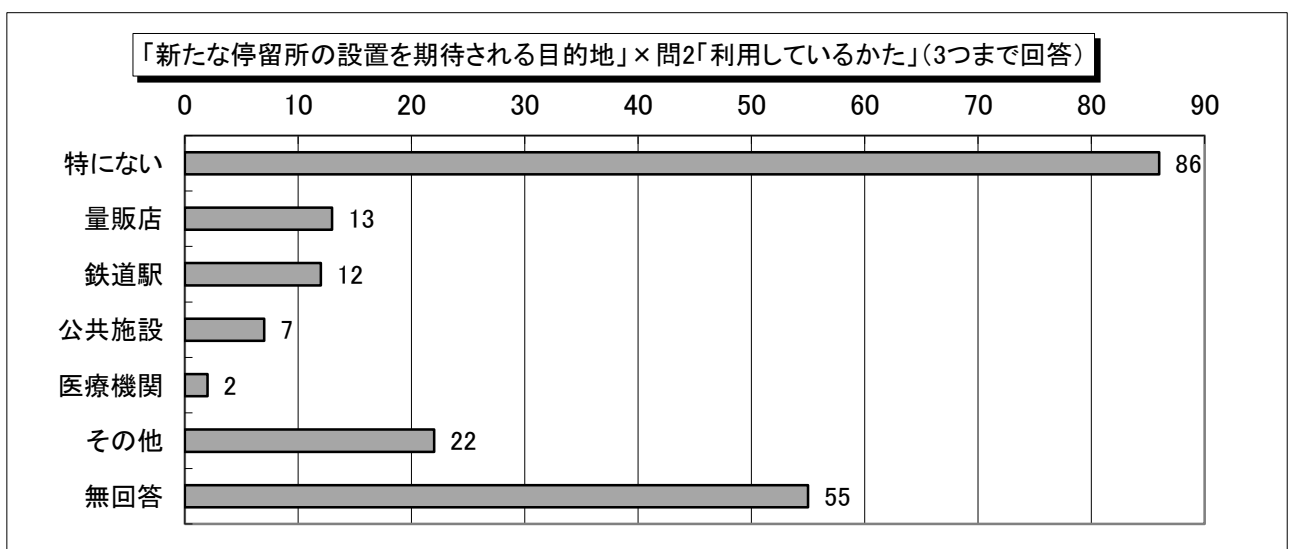
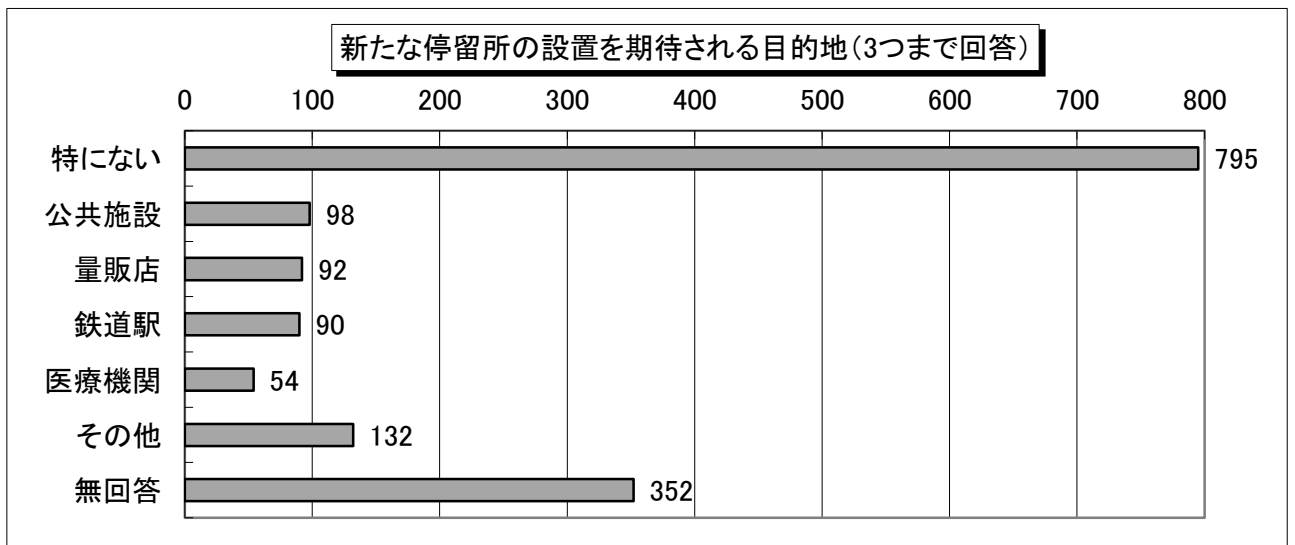
問 13 より多くのかたにコミュニティバスを利用していただくための改善策として、どのようなことが有効だと思われますか。
 次の項目の中から2つ選んで番号を記入してください。

○ 御意見が多かった順に「停留所の増加」、「運行路線の変更」、「広報活動」、「運行便数の増加」、「乗継ぎの改善」となっております。
 利用促進のためには、運行事業を拡大していくことが必要であると考えられていることが伺えます。



問 14 コミュニティバスの新たな目的地（行き先）として停留所を設けるならば、どこに設けるのが良いと思われますか。
施設名などを3つまで御記入ください。

○ 「記載された内容から以下のように分類をさせていただきました。
「特にない」が最も多く、また、他の設問と比較すると「無回答」が多く見られました。
また、参考として、問2において「利用している」と回答いただいたかたとのクロス集計を行いました。同様の結果が見られました。

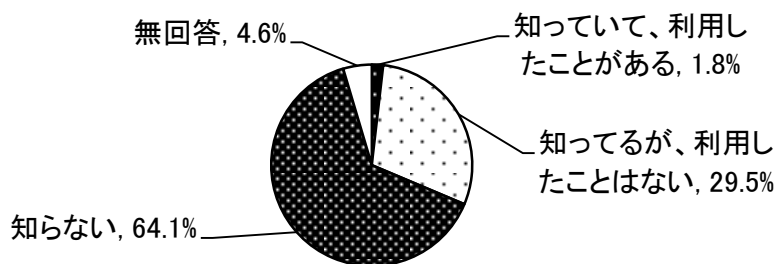


問 15 コミュニティバスへの連絡手段として、市内 44 か所にコミュニティタクシー乗り場を設置し、コミュニティタクシーを運行しています。

あなたはコミュニティタクシーを知っていますか。また知っているかたは利用したことがありますか。

○ コミュニティタクシーの運行を「知っている」と回答されたかたは併せて 31.3%であり、コミュニティバスの周知が9割を超えていることと比較しますと、コミュニティタクシーの認知が低調であることが分かります。

コミュニティタクシーが運行していることを御存知ですか



問 16 コミュニティタクシーを利用したことがない理由は何ですか。

次の項目の中から2つ選んで番号を記入してください。

○ 「自動車、自転車など他の交通手段を利用している」との回答が最も多く、次いで「利用方法がわからない」との回答となっておりましたので、コミュニティタクシーの「利用方法」についても広く周知を行っていく必要があります。

コミュニティタクシーを利用していない理由(2つまで回答)

